

市議会は、 大きな 「学級会」。

みなさんのクラスでは、学校生活を気持ちよく、楽しく送ることができるように、学級会でみんなの意見をまとめたり、約束ごとを決めたりしていると思います。市議会⁽¹⁾は、学級会と同じようなもの。仙台市がよりよいまちになり、わたしたち市民が気持ちよく暮らすことができるようにするにはどうしたらよいか、市議会議員⁽²⁾がみんなと話し合ったり、決めたりしています。市議会議員は、仙台市民から選挙で選ばれた人たちなのです。

1 市民センター建設は、「請願」から始まりました。

「市民センターをつくらしてほしい」というケヤキ町の代表者が、議員のところに行ってきました。市に対する意見やお願いなど、わたしたち市民の声は、議員から市議会に届けられます。

わたしたちの町に、会議室や図書室、そして音楽会やスポーツができるホールがいっしょになった市民センターがほしいのです。町の人たちみんなの意見なんですよ。



市民と議員

市議会⁽¹⁾と市議会議員⁽²⁾

わたしたちが住んでいる仙台市を住みやすくするにはどうしたらよいか。それは、クラスのことをクラス全員で決めるように、市に住んでいるみんなで意見を出しあって考えるのが、一番よいやりかたです。でも、仙台市には100万人以上の方が住んでいます。そんなにたくさんの市民が、一度に集まって話し合うのは大変。そこで、18歳以上の仙台市民が選挙をして、わたしたちの代表を選んで、話し合うことにしているのです。その代表者を「市議会議員」、市役所の人たちの考え方も聞きながら話し合いをするところを「市議会」といいます。

市民

ケヤキ町の方々は、市民センターがあるとさらに豊かな暮らしができるようですね。この請願⁽³⁾は、次に開かれる議会で取り上げてもらいましょう。

請願⁽³⁾

市民はだれでも市の仕事について、こうしてほしいと思っているお願いや意見を文書にして、議員をとおして市議会に出すことができます。これを「請願」といいます。また、議員をとおさずに文書を市議会に直接出すことを「陳情」といいます。

さて、ケヤキ町の人たちの願いはかなえられるのでしょうか。請願は本会議⁽⁴⁾から、議会の中の委員会⁽⁵⁾でくわしく話し合うようにまかせられます。そして、また本会議にかけられて、ケヤキ町の人たちの願いである市民センターを建てるべきかどうかについて議会としての意見を決めます。

議員

本会議⁽⁴⁾と委員会⁽⁵⁾

市議会議員が全員集まって、市がする仕事のなかみなどを決める話し合いを「本会議」といいます。しかし、市の仕事はたくさんあるので、本会議だけでは時間がかかりすぎて、くわしいことまで話し合うことができません。そこで何人かの議員でグループをつくり、市の仕事をグループごとに分けて話し合いをしています。このグループを「委員会」といいます。

2 よりくわしいことを[委員会]で話し合います。



請願
紹介議員

議会で取り上げられた請願は市民センターを建てることに関係のある市民教育委員会で市民から話をきいた議員から紹介されます。そして、ケヤキ町の人たちの願いである市民センターを建てるべきかどうかを話し合います。

くわしく調べた結果、委員会ではこの市民センターをつくるという請願を市長に伝えることにしたほうがよいということになりました。

委員長